

患者さまへ

「低侵襲僧帽弁手術における扁平胸郭の影響の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、別の研究での利用について同意されている場合、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2014年から2020年までに当院において低侵襲僧帽弁手術を施行され、手術時に別の研究での情報利用に同意された患者さま

2. 研究目的・方法

当院において低侵襲僧帽弁手術を施行された患者さまを対象として、年齢、性別、体重、胸郭のCT計測値、手術時間、手術早期成績等を診療録の情報から後ろ向きに評価し、扁平胸郭が低侵襲僧帽弁手術に与える影響を明らかにすることが目的です。これにより症例・術式の選択や手術侵襲の予想に有用な情報が得られることが期待されます。

研究期間：当院施設院長承認後～2024年5月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

- ① 研究対象患者さま背景（年齢、性別、体重、身長、BMI、疾患）
- ② 胸郭のCT計測値（胸郭横径、胸骨椎体間距離、左胸郭前後径）
- ③ 手術時間
- ④ 手術早期成績（死亡、再手術、主要合併症等） 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉西総合病院・心臓血管外科 副院長 中村 喜次
千葉県松戸市金ヶ作 107-1 連絡先：047-384-8111

(2023年9月15日作成 (第2.1版))